

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
1	17分	渡久地 修(共産党)	知事
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県知事選挙について</p> <p>ア 国会や県議会において議席を得ている政党で、県内移設容認派あるいは県内移設推進派は今回の知事選挙で候補者を立てることができなかった。このことについて知事の見解を問う。</p> <p>イ 「普天間基地は世界一危険な基地である」と県は認識しているか。米国の安全基準を満たしていない基地であることを県は認識しているか。</p> <p>ウ 日米両政府はあくまでも5月の日米合意の推進を明言、また、普天間の固定化などの脅し的な手法も弄ってきている。それに屈することなく、沖縄のどこにも新たな基地をつくらせず、普天間基地の早期閉鎖・返還のために、知事はどう動くのか。知事の具体的策について伺う。</p> <p>(2) 次期沖縄振興計画について政府との交渉に臨む姿勢について</p> <p>ア 沖縄戦及び戦後27年間の米軍占領と今なお続く基地の重圧と被害のもとでの、沖縄振興に対する国の責任を明確にすること。</p> <p>イ 経済振興と米軍基地の押しつけのいわゆる、「基地とのリンク」をきっぱり拒否すること。</p> <p>ウ これまでの政府主導から沖縄主導の振興計画の策定を行うこと。</p> <p>エ 一括交付金の名のもとに、政府の責務の放棄と地方財政削減のねらいを許さないこと。</p> <p>(3) 38年間の振興計画の教訓に立って次期振興計画策定に当たっては、</p> <p>ア 沖縄の米軍基地の存在を前提にしてきたことを改め、脱基地を目指したものにすること。</p> <p>イ 外からの企業誘致だけでなく、第一次産業を含めた、地元産業、地元企業の振興・育成を柱にし、沖縄の力を底上げするものにすること。観光もカジノ誘致ではなく、沖縄の伝統・文化・芸能、自然などの沖縄の魅力を生かしたものにすること。</p> <p>ウ 沖縄に投下された振興予算が本土に還流する仕組みを改め、沖縄域内で蓄積・流通する仕組みにすること。</p> <p>エ 箱物建設中心ではなく、米軍占領によって27年間放置され、いまだに解決していない福祉、教育などの分野を重点にすること。</p> <p>オ 広大な領海、経済水域の確保に貢献している離島振興も大きな柱にすること。</p> <p>(4) 沖縄平和賞についての意義、目的などについて伺う。</p> <p>(5) 住宅リフォーム補助制度の創設について 多くの自治体で緊急経済対策として大きな実績を上げている。秋田県で大きな成果を上げ、山形県も実施に踏み出し各県に広がっている。全国的な状況と秋田県での成果についての県の見解を伺う。また、沖縄県でも次年度予算から実施すべきである。</p> <p>(6) 小規模事業者登録制度を県としても実施し、県が発注する公共施設の修理・修繕、改修など小規模な公共工事に直接参加できるようにすること。</p> <p>(7) 沖縄の学校は正規教員が一番少ない県となっている。教育問題に深刻なひずみをもたらしている。早急に是正すべきである。具体的な計画を問う。</p> <p>(8) TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に参加しないよう求めることについて</p> <p>(9) インターナショナルスクール校舎の整備に県予算として3億9400万円余を計上しているが、2月議会での「県は同事業に対して、これ以上の予算上の支援を行わないこと」との</p>			

附帯決議に明確に反している。議会軽視である。

- 2 真和志高校西側の斜面崩落防止対策について
- 3 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	仲村 未央(社民・護憲)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 基地問題をめぐる知事の選挙公約と政治姿勢について</p> <p>(1) 民主党政府は、再選を果たした仲井真知事について、県内移設実現に向けた交渉に応じてくれる柔軟性のある知事だと期待を寄せている。「県外移設」を公約した知事の立場からは不本意な「期待」だと思うがどうか。見解を伺う。</p> <p>(2) 鳩山前総理は「学べば学ぶほど沖縄に海兵隊が必要」として抑止力論を持ち出し辺野古に回帰した。知事は「海兵隊は沖縄のためだけにいるのではなく、日本中、アジアを守るためにいる」「全国民で解決してもらいたい」との認識を重ねて示されているが、海兵隊の役割と日米安保の国民的負担のあり方についてどう考えるか。</p> <p>(3) 日米再編合意は、辺野古移設、海兵隊グアム移転、中南部基地返還をパッケージとし、辺野古の実現なくしては普天間は固定化されるという論理を導く根源になっている。知事が主張する「日米合意の見直し」とは何か。要求のポイントを伺う。</p> <p>(4) 米海兵隊はオスプレイを普天間基地に配備する計画を持つ。「一日も早い危険性の除去」を公約する知事の考えに重大な支障を及ぼす計画だが見解と対応を伺う。</p> <p>(5) 「嘉手納飛行場の抜本的な騒音対策」の中身は何か。</p> <p>(6) 基地従業員に対する米軍のパワーハラスメント、不当解雇があるが、知事として日米両政府にどのような姿勢で臨むか。</p> <p>2 「行政業務のアウトソーシング」が引き起こす問題点について 公約に掲げるアウトソーシングについては、組織に専門性や技術が蓄積されないことの損失を見極めて対応する必要がある。例えば企業局は浄水場の夜間・休日業務委託を進めているが、メリット・デメリットについてどのように検証されたか伺う。</p> <p>3 「沖縄新法」と沖縄振興一括交付金、推進体制について</p> <p>(1) 新しい沖縄振興で組織、予算を重点化する分野はどこか。従来の振興計画の課題を踏まえ、新しい方向性があれば示されたい。</p> <p>(2) 「道州制導入」を掲げているが、その必要性和課題を伺う。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	上里 直司(民主党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 「沖縄振興一括交付金(仮称)」の実現後の推進体制について</p> <p>(2) 沖縄振興特別措置法にかわる新たな法律の県案策定について</p> <p>(3) 総合事務局をその機能と権限を県に移譲させ、人件費の財源を確保した上で廃止を求める考えはないか。</p> <p>(4) 鉄軌道導入についての知事の見解を伺う。</p> <p>2 県立浦添看護学校の存廃について</p> <p>(1) 民間移譲に伴う行財政効果について</p> <p>(2) 民間移譲に伴う変化について</p> <p>ア 経済的困窮者に対して支援を拡充すべきであるが、見解を伺う。</p> <p>イ 返還免除等の条件設定について</p> <p>(3) 急性期病院への看護師誘導について</p> <p>3 今後の看護師確保と看護師が夢を持てる施策の展開について</p> <p>(1) 県内における看護師数、養成校生徒数及び志望者数について</p> <p>ア 過去3年間の推移について</p> <p>イ 全国との比較について</p> <p>(2) 県立病院における院内保育所について</p> <p>ア 整備状況と今後の展望について</p> <p>イ 院内保育所設置に努力すべきであるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 海外で活躍できる看護師養成について</p> <p>ア 県内での養成校及び養成コースの設置状況について</p> <p>イ 「海外医療施設等との交流強化」の推進について</p> <p>ウ 今後の展望の中で、本県をアジアにおける看護師養成と派遣の一大拠点として位置づける構想づくりを策定する考えはあるか。</p> <p>4 沖縄アミックスインターナショナルスクールへの県のかかわりについて</p> <p>(1) 校舎建設資金について、建設費総額とそれに占める県、国の補助予定額、寄附、借入額等の内訳について</p> <p>(2) 学校開校とその準備について</p> <p>ア 当初どおりの開校は可能なのか。</p> <p>イ 現在、インターナショナルコースの志望者数は何名いるのか。また、そのうち大学院大学関係者は何名いるのか。</p> <p>(3) 「他の私学」と均衡を保つ施策は検討されているのか。</p> <p>5 環境とエネルギー事業の推進について</p> <p>(1) 政府が沖縄県に「環境未来都市プロジェクト」を導入する方針を固めたとの報道があるが、県の施策との整合性と対応について</p> <p>(2) 久米島での海洋温度差発電の実証実験について</p>			

- ア 関心の高まりとハワイ州との共同研究事業の取り組みについて
  - イ 県として政府に働きかけを強める必要があるのではないか。
- 6 「沖縄待機児童対策スタディ・グループ」の提言内容について
- (1) 次年度の取り組みについて
  - (2) 幼稚園における三、四歳児の受け入れの推進の進捗について
  - (3) 認可外保育施設における「保育ママ」活用の検討状況について
- 7 県財政における自主財源の確保について
- (1) 県内の金融機関の健全性をどのように見ているのか。
  - (2) 基金の運用について
    - ア 昨年度期末における利息ゼロの決済性普通預金残高は幾らか。
    - イ 年度末の1カ月間でそれらを有利で運用した場合、運用益はどの程度見込まれるのか。
    - ウ 今年度末の1カ月間程度、基金残高を有効に運用できないか。
- 8 「珊瑚舎スコーレ夜間中学校」の運営の支援について
- (1) 国と県からの支援をどのように考えているのか。
  - (2) 県内の義務教育未修了者への対応について
    - ア 県内の義務教育未修了者数について
    - イ 公立夜間中学校の設置予定と他府県の事例について
    - ウ 制度的な支援について

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	奥平 一夫(社大・結)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 知事の政治姿勢について

#### (1) 「普天間基地の県外移設」実現について

- ア 「同床異夢の感あり」発言は大変遺憾。県民の心を一つにと訴えた知事の姿勢と相反するのではないか。
- イ 「日米合意」の履行を迫る菅総理が来島する。「共同声明の見直し」を主張する知事はどう対応するか。
- ウ これまでの「県内移設に応じなければ普天間基地の長期の固定化は避けられない」とする政府の恫喝に知事はどう対応していくか。

#### (2) 「普天間基地の危険性除去」について期限を設けない理由は何か。また、政府とどのように交渉していくか伺う。

#### (3) 演奏会を装った宣撫工作や、音楽隊員や荷物の運搬を目的とした米軍機の民間空港の強行使用で住民を分断したことに知事は強く抗議し、今後予想される先島や沖縄本島でのこのような宣撫活動に反対を表明すべきではないか。

### 2 沖縄県立病院及び医療行政について

#### (1) 県立病院経営再建計画の数値目標の経緯と達成見込みについて平成21・22年度ベースで伺う。

- ア 経常収支の黒字化について伺う。
- イ 不良債務の解消について伺う。
- ウ 資金不足の解消について伺う。

#### (2) 人材確保について(臨床研修医の正職員化を含めて)

#### (3) 県立南部医療センターで導入されている7対1看護体制の効果について以下伺う。

- ア 経営への改善効果はあるか。
- イ 患者側にとってどのような効果があるか。
- ウ 過重な労働負担の軽減効果はどうか。
- エ 現場職員の評価はどうか。
- オ 7対1導入による課題は何か。

#### (4) 県立宮古病院について

- ア 高齢化が進む宮古圏域において、新病院は圏域の中核病院として、医療だけでなく保健や介護・福祉との連携機能も充実強化すべきと考える。どのようなことが検討されているのか伺う。
- イ 将来において圏域で完結できる医療体制はまず人材の確保である。現場からはどのような人材を必要としているか。当局は現場の声にどのようにこたえていくか伺う。
- ウ 再建計画の途中実績と課題、及び今後の達成見込みを伺う。

#### (5) 県立浦添看護学校について

- ア 存廃も確定せず、県議会でも2度にわたる全会一致の反対意見書が出ているにもかかわらず学生募集を実施することは県民への背任行為である。
- イ 県立病院は看護師不足で収益を悪化させている。看護師養成は県立で政策医療の一环として継続されるべき。

ウ 行財政改革の視点で民間委譲を決めたが、医療体制の補完という視点からすれば県民にとってどれだけの費用対効果があるのか大いに疑問。安い授業料で親の所得格差によらず質の高い看護養成を行ってきた県立浦添看護学校こそ県立で継続させ、修学資金をさらに拡大して地域医療を担う人材育成をふやし、再び地域に戻していく積極的なインセンティブ施策こそ進めるべきである。今回の廃止条例は、教育の機会均等を拡大し、県民の現在の所得水準を配慮する視点に欠けている。撤回すべきである。

### 3 下地島空港及び周辺残地問題について

- (1) 「沖縄経済のエンジンになる」と発言してから4年が経過する。知事の本気度を示していただきたい。
- (2) 知事公約「下地島空港を災害支援物資の備蓄基地とし、ボランティア活動、人材支援の拠点づくり推進」について具体的内容、どのように取り組み、宮古島の活性化につなげていくのか伺う。

### 4 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	前田 政明(共産党)	知事
質 問 要 旨			
<p>1 知事の基本姿勢について</p> <p>(1) 辺野古、普天間基地問題について、4年前の知事選挙の公約と今回の知事選挙公約の違いとその理由について問う。</p> <p>(2) 知事選挙の結果は、「沖縄のどこにも基地をつくるところはない」、「辺野古は不可能」という知事の見解は、「県内に新基地建設はやめる」、普天間基地の撤去という点で、「沖縄県民が心ひとつに」日米両政府に訴えていく新たな政治状況となったのではないか。</p> <p>(3) 辺野古基地建設推進の日米両政府に対して、日米合意の見直しをどのように実現していくのか。辺野古基地建設反対の稲嶺名護市長、普天間基地撤去の安里宜野湾市長と一致点で協力・共同すべきではないか。</p> <p>(4) 民主党政権に対する知事の評価について問う。</p> <p>(5) 民主党政権と自民党・公明党本部は辺野古基地建設推進という点で一致しているのではないか。この辺野古基地推進勢力に対してどのように公約を実現する立場で対応されるのか。</p> <p>(6) 名護市が現況調査を不許可にしたことは、辺野古の新基地につながることに反対するという立場を一貫するものとして評価・賛同できるのではないか。また、知事は公有水面の埋立許可を拒否することを明言すべきではないか。</p> <p>(7) 菅民主党政権は選挙後、沖縄振興と基地問題をリンクするという発言がなされている。振興策と引きかえに辺野古に基地建設を容認することを知事に期待していることに対して、どのような対応をされていくのか。</p> <p>(8) 日米安保条約、日米軍事同盟が今日の沖縄の発展の障害となっている米軍基地の存在と基地の自由使用、屈辱的な日米地位協定などの県民の生命・財産・人権をじゅうりんする根源となっているのではないか。</p> <p>(9) 日米共同統合演習の実態は、改めて沖縄の米軍基地・自衛隊基地の危険な実態を示すものとなった。知事の見解と対応を問う。</p> <p>2 県立病院事業について</p> <p>(1) 県立病院の経営改善の状況について</p> <p>(2) 「病院関係者の努力により、経営改善が軌道に乗っている」のであれば、独法化を断念し県が必要な支援を行うべきではないか。</p> <p>(3) 7対1看護の実績と今後の実施計画について</p> <p>(4) 医師、看護師の退職状況、欠員状況と医師、看護師の確保について</p> <p>(5) 八重山病院の建てかえについて、当局の見解と対応を問う。</p> <p>3 医療福祉行政について</p> <p>(1) 県立浦添看護学校の存続について</p> <p>(2) 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの定期接種がすべての市町村で実現するためにも、三種ワクチンに対する県の補助助成が必要である。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			



# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	玉城 義和(無所属)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 選挙期間中、「県民の心をひとつに」のスローガンで戦ったと思うが、どのようにして県民一丸の体制をつくっていくか。また、その意義は何か。</p> <p>(2) 菅首相の来県が予定されているが、首相に期待することは何か。また、来県時に提案されると言われている「沖縄環境未来都市プロジェクト」についての認識はどうか。</p> <p>2 ポスト振興計画関係について</p> <p>(1) 新たな沖縄振興計画及び「沖縄新法」はどのような論拠をもって策定を進めるのか。</p> <p>(2) 「沖縄新法」及び「駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)」の考え方、概要について説明されたし。</p> <p>(3) 「沖縄振興一括交付金」についての折衝経過とそのメリット・デメリットについて説明されたし。</p> <p>3 基地問題について</p> <p>(1) 少なくとも任期の4年間は県内移設容認にかじを切ることはないと言明できるか。</p> <p>(2) 「日米共同声明を見直し、県外移設の実現」を公約に掲げたが、どのような戦略をもって実現させるか。</p> <p>(3) 普天間基地の危険性の除去は、この4年間1センチも前進しなかった。その理由と今後の対応を伺う。</p> <p>(4) 「駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)」等との関連性も考慮すれば、基地整理縮小・撤去のアクションプログラムが必要と思うがどうか。</p> <p>(5) 振興策と普天間のリンクについて「あうんの呼吸なので否定できない」と述べているが、その真意は何か。</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) 観光客1人当たりの消費額が21年は7万円を割り、過去30年で最低額になっている。原因は何か。また、その引き上げのためにどのような対策をするか。</p> <p>(2) 「文化観光スポーツ部」の設置について、文化・スポーツを観光と一緒にしたのはなぜか。</p> <p>(3) 「カジノ」について所見を伺う。</p> <p>5 知事の選挙公約との関係について</p> <p>(1) 県民所得を最下位から20位に上げるとの政策について説明されたし。</p> <p>(2) 鉄軌道の導入について具体的に説明されたし。</p>			

# 一般質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月16日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	赤嶺 昇(改革の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事は県知事選挙で「県民の心をひとつに」、「沖縄から日本を変える」を合言葉に当選しました。その具体策を伺う。</p> <p>(2) 普天間基地危険除去の解決策を伺う。</p> <p>(3) 知事は日米合意をどのように見直してもらいたいのかを伺う。</p> <p>(4) 公約実現への決意を伺う。</p> <p>(5) 副知事人事について知事の見解を伺う。</p> <p>(6) 知事は尖閣諸島に行く考えがあるのかを伺う。</p> <p>2 米軍基地元従業員へのパワハラ訴訟についての対応を伺う。</p> <p>3 医療行政について</p> <p>(1) 県立病院の7対1看護体制の進捗状況について</p> <p>(2) 県立病院の経営状況を伺う。</p> <p>(3) 県立病院の診療費等をコンビニエンスストアでの支払いができるようにしてはどうか。</p> <p>4 福祉行政について</p> <p>(1) 政府が進める幼保一元化について県の対応策を伺う。</p> <p>(2) 認可外保育施設へ給食費補助増額について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			